

出会いから墓場まで2人の相性のすべて

石川遼 1991/09/17 と 上田桃子 1986/6/15

出会ってから初期の頃の二人の相性

出生時における**女性の金星**が入っている星座と、**男性の火星**が入っている星座は、2つの星座をおいて離れていて、一言でいえば、『**尊重愛**』といえます。

つまり、2人が出会って、最初のころは、自分とは、全く異なったタイプだという気持ちがお互いにあります。出会った瞬間に強烈に惹かれあうということはありません。今までに出会ったことのない異色の異性だと意識しながらも、自分とは縁がありそうにないというところからスタートするかもしれません。しかし、顔を合わせる回数が増え、話しをしていくうちに、異性として刺激されるなにかを感じ始めます。そして、理性では抑えきれない感情が高まり、不安を抱きながらも、特別な異性だと認識するようになります。

プラトニックラブから肉体関係に発展した場合の相性

1度肉体関係をもったあと、男性は、女性の肉体を愛し、女性は男性の全てを深く愛するように変化していきますが、その変化のあり方が、2人の相性となるわけです。占星学では、肉体関係はお互いの火星で見ます。出生時における**女性の火星**が入っている星座と、**男性の火星**が入っている星座が**2つの星座をおいて離れています**。

つまり、2人の相性は、交際が進むにつれて、お互いの求めているものが異なってきます。片方は、精神的な触れあいを重視しているかと思えば、片方は、肉体的な触れあいを重視しているというように、お互いのリズムが合いません。リズムが合わないときに、無理にセックスの行為に及んでも、一体感としてのオーガズムを得ることができず、ますます、2人の距離が大きくなっていきます。ですから、男女の身体の違い、リズムの違いを最初から認め合い、相手に合わせる努力をする必要があります。

肉体関係をもって、3年経過したあとの相性


初めて肉体関係をもって、3年が経過すると、2人の相性は、生活面での相性へと変化してきます。その衣食住という日常生活におけるお互いの価値観が、次の段階の相性を決定するわけです。占星学では、家庭生活の相性はお互いの月で見ます。出生時における**女性の月**が入っている星座と、**男性の月**が入っている星座が**3つの星座をおいて離れています**。

つまり、2人が一緒に暮らした場合でも、その生活の感覚、物事の見方などには共通性があり、相手の考え方を尊重し合うような間柄です。お互いに、家庭を良くしていこうという気持ちがあり、奉仕しあえるカップルに進化していける相性です。この組み合わせの場合、子供が一人誕生して、子育てを協力して行うことによって、本当の意味でお互いの必要性を認め合うことができます。

最終的に魂と魂の相性はどうなるのか？

男女の愛は、肉体的な魅力や姿形を無視しては成立しません。しかし、同じ屋根の下で10年以上暮らすと、お互いの姿形は、どういうものであれ、慣れてきます。そして、それから、本当の意味で魂と魂との相性に变化していくわけです。占星学では、魂の相性はお互いの太陽で見ます。出生時における**女性の太陽**が入っている星座と、**男性の太陽**が入っている星座が**2つの星座をおいて離れています**。

つまり、2人の魂は、もともと距離が離れていて、水と油で溶け合うことは難しい関係です。お互いに、相手の、心の奥深いところは理解できないという関係です。し



出会いから墓場まで2人の相性のすべて

石川遼 1991/09/17 と 上田桃子 1986/6/15

かし、人生上の困難を共同で乗り越えていくうちに、自分とは異なる相手の個性をそのまま、素晴らしいものとして認め合うという関係に変化していきます。違いを高い知性で融合すると、違いを楽しめるようになってきて、社会がどんなに変化しようとも、比較的楽に対応できることを学びます。